

救急☆3分トレーニング

Vol. 14

救急課 高度救急研修センター



この「救急☆3分トレーニング」は、救急隊員が日ごろ疑問に思っていることや、知っているようで知らないこと、何となく他人に聞くのが恥ずかしいことなどを、分かりやすく、3分以内で解決するトレーニングです。

新しい隊員さんだけでなくベテランさんも、出動の合間にササッと御覧いただき、今後の救急活動に役立ててください。

★救急の歴史…京都市最初の救急車



昭和8年、神奈川県警察部が横浜市中区の山下消防署（現：中消防署）に救急車を配置したのが、消防機関（当時は警察組織の一部）で全国初の救急車です。

その後、昭和9年に名古屋市、昭和11年に東京及び京都市下消防署（現：下京）に配置されました。

この下消防署に配置された救急車（ダッチ1935年型）は、四条通麩屋町東入において洋食料理店「萬養軒」（現：花見小路四条下ル）を営んでいた伊谷市郎兵衛氏から寄贈されたものです。

伊谷氏は、諸外国、特にアメリカで洋食の研究をしていたこともあり、各地で救急車の活躍を見て、この救急車を京都にも置いて、傷病者の生命身体を守りたいと考えたそうです。

昭和14年には、上消防署（現：上京）にも救急車が配置され、2台体制となった後、昭和23年3月7日消防組織法施行により京都市消防局が発足。この年の年間救急出動件数は219件でしたが、以降、件数は飛躍的に増加していきます。（つづく）

